

事業名称	信州「空モビリティ×山岳高原イノベーション」創出事業	事業計画期間	R6-R10年度
事業実施主体	長野県	交付対象事業費	48,890千円
事業概要	<p>長野県は急峻な地形や河川等で地理的に移動や物流の制約がある上、人口減少・高齢化による担い手不足により、生活に必要なサービスの持続性や地域の活力減退に直面しているため、以下について取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空飛ぶクルマやドローンをはじめとする次世代空モビリティの社会実装に必要な環境整備（ドローンサービスのプラットフォーム整備やドローン航路・空飛ぶクルマ航路の候補調査・環境整備等）</li> <li>・県内での次世代空モビリティ社会実装を加速させるための支援（パーティポート設置・整備の支援等）</li> </ul>		
<p>具体的使途 (経費内訳はR6年度事業費)</p>	<p>○次世代空モビリティの理解促進・社会受容性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、シンポジウム等によるPR（委託料）12,329千円</li> </ul> <p>次世代空モビリティの利便性・将来性を県民・企業等が理解し、地方創生を実現する手段として同モビリティが受け入れられる土壌を作るため、イベント、シンポジウム等によるPRを実施する。</p> <p>○多数の企業を関連事業に参入させるための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空飛ぶクルマのユースケース&amp;経済効果の調査（委託料）21,080千円</li> </ul> <p>空飛ぶクルマの運航ユースケース・有力ルート候補の調査、市場拡大シナリオ&amp;経済効果の見える化を行い、当県をフィールドとした空飛ぶクルマ関連事業への企業の参入意欲・期待値向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」での具体事業創出のマッチング（委託料）5,151千円</li> </ul> <p>120を超える協議会参加団体の更なるネットワーク化、具体事業創出、エコシステム作りを促進するため、知識レベル向上による共通認識づくりや、団体同士の連携を促進するためのビジネスマッチングを行う。</p> <p>○次世代空モビリティ社会実装に必要な環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンサービスの紹介プラットフォーム構築（委託料）330千円</li> </ul> <p>県内で実装済みのドローンサービスを提供する事業者と、ドローンを活用したいユーザーとをマッチングするプラットフォームを構築することで、既に巷で提供されているドローンサービス活用の裾野を拡げ、ユーザーの潜在ニーズを引き出す。</p> <p>○次世代空モビリティ社会実装を加速させるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業による県内での次世代空モビリティ事業化準備支援（補助金）10,000千円</li> </ul> <p>民間企業（協議会参加団体）による県内での次世代空モビリティ事業化準備（実証実験や調査）支援</p>	<p>実施体制</p>	<p>信州次世代空モビリティ活用推進協議会</p> <p>相互に連携</p> <p>産 学 金 官</p> <p>長野県をフィールドに山岳モデルを社会実装</p> <p>事業性評価や出資の検討</p> <p>民間金融機関 政府系金融機関</p> <p>信州大学、諏訪東京理科大学、長野高専</p> <p>長野県</p> <p>市町村 国</p> <p>事務局・長野県</p> <p>課題解決による社会実装をサポート、地域産業&amp;人材育成</p> <p>実証・実装場所の提供、事業化への協力</p> <p>制度や技術動向、広域連携の支援</p> <p>全体取りまとめ、環境整備、事業化支援</p> <p>連携により効果的に実施</p> <p>R6長野県予算事業</p> <p>イベント、シンポジウム等によるPR (委託先) アルビコホールディングス・日本空港コンサルタンツ・建設技術研究所・AirX・鈴与共同体</p> <p>空飛ぶクルマのユースケース調査・事業創出マッチング (委託先) テロイト トーマツ コンサルティング</p> <p>ドローンサービスの紹介プラットフォーム構築 (委託先) 選定中</p> <p>民間企業に次世代空モビリティ事業化準備支援 (補助交付先) 選定中</p>